

ASA  
大田中央

ASA  
東大井

有限会社 芝原新聞販売  
Presents  
2008.5月

ASAスタッフは町歩きの人でもある。  
朝日新聞販売店発の近所散歩ミニミニ

## 池上本門寺の朝市

# 朝市は三文の徳

① 賑わいは門をくぐる前から  
AM8:00。まだ人の姿もまばらな朝の商店街を抜け、本門寺へ向かう。総門の周りにはすでに四方からどんどん人が集まってきていた。

② さあ、朝市だ！  
門をくぐると、店の呼び声と訪れた人たちの声が重なりあって響く。家族連れや犬の散歩中の人もある。キムチに赤飯、たらいに器。バラエティに富んだ出店が14軒。ご近所の朝市らしく、どこかほのほとした雰囲気。

自慢のキムチです！

③ お店の自家製キムチ  
ブースに積まれたキムチの色が目を引く石焼ピビンバ専門店「ふるさと」さん。自家製キムチをちょっと味見。体がシャキッと目覚める辛さ！

ずっと使えるよ！

④ 一生モノのまな板  
木製のまな板や桶がズラリ。西蒲田に住む桶作り40年の職人さんが作ったもの。まな板は、長持ちさせるため、1年間水に浸けてから作るという手間暇かかった逸品。

■チヂミ500円

「ふるさと」さんのチヂミはこらたつぷりで食べ応え満点！

第3日曜日の朝に開催されている本門寺の朝市。野菜から衣類、食材まで、特別価格で並ぶ品々を目当てに、たくさんの方が訪れるという。さっそく日曜の朝にちよっと早起きして行ってきました。

朝市だけの特別品よ！

⑤ 朝市が一番人気  
“お赤飯今日はまだある～？”とお客さんがこそって買い求めているのが米屋「不二美」さんの赤飯。お店には並ばない朝市だけの特別商品で、午前2時半から作るという。ふっくらつやつやで美味！

■新米赤飯  
350円

### 池上本門寺朝市

場 所：池上本門寺総門・石段下  
日 時：3月～6月、9月～12月の  
          第三日曜日 午前8時より  
小雨決行・雨天のとき中止の場合あり  
次回朝市：5月18日(日)  
              6月15日(日)

No.13

(毎月25日発行)



### 6 生協の新鮮野菜

東京南部生協さんのブースでは、季節の新鮮野菜がお客さんの注目を集めていた。次第に賑わいを増す朝市。顔を合わせたお馴染みさん同士が、あちらこちらで朝のあいさつ。

### ミニ植木鉢 500円～

「夢楽天」さんのブースには色んな陶器がずらり。



**炒りたてが一番!**

### 9 コーヒーの香りに足を止める

コーヒー豆専門店「ロースティングカフェ」さんのブースに並ぶのは、朝市直前に焙煎したコーヒー豆と、あったかいコーヒー。青空の下で飲む朝の一杯はまた格別!

### 10 青空の下の朝食

コーヒー片手に、お隣の池上のパン屋「プチドルフィン」さんのブースを覗くと、美味しそうな菓子パンやサンドイッチなどが並んでいた。池上名物、本門寺あんぱんを買う。

### 11 朝市のファンです!

総門の下、おじいちゃんとお孫さんが朝市のサンドイッチで朝ごはん。この朝市を楽しみに、愛犬のチョコラと一緒に毎回足を運んでいるのだとか。朝のやわらかな風が時折吹いていく。もうちょっとお寺の奥まで行ってみよう。



### 7 春の花が朝市を彩る

春の花で溢れていた池上の花屋「ホワイトティアラ」さんのブース。朝市価格で定価より10～50%引き。

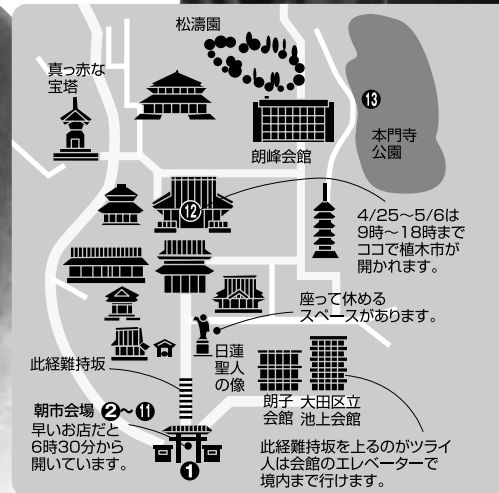
### 8 手作りエコバッグ 1,000円

実行委員会のメンバーが作ったエコバッグ。手作りの一点モノ!



### 8 朝市は池上の活力剤

会場で出会った、朝市の責任者の間宮さん。「池上はイベントが少ないので、みんなが楽しみになるようなことをしようと思ったんです。池上の商店街が中心になって、この朝市はもう4年も続いているのだそう。」



### 街角で歴史発見!

### 法華經の教えを伝える石段 此経難持坂 (シキョウナンジザカ)

朝市を見守るのは総門から本堂へと続く、この石段。本門寺の祖師堂なども建立寄進している、加藤清正が、慶長11年(1606)に築造寄進したと考えられている。法華經の經文・此経難持の字数、96字にちなんで96段。法華經を受持することの至難と石段を上る苦しさを重ね合わせ、經文を読みながら上れば自然に上れると言い伝えられている。



3月の下旬には両側から満開の桜が彩っていた。

### 12 朝の本門寺

朝市を出たあと、此経難持坂の石段を上る。境内は石段の下と違って変わった静けさ。朝日で玉砂利がキラキラと輝いて見えて清々しい。



### 13 新緑の下で深呼吸

本門寺公園へ続く道は鳥の声にぎやか。新緑の木々とおひさまが、気持ちのいい木陰を作る。早起きは三文の徳。いつもの休日ならまだ布団のなかでも、たまには早起きもしてみるものだ。

※次回は、「大井競馬場」にでかける予定です。

バックナンバー差し上げます。(専用バイnder付)

ASA大田中央・ASA東大井までご連絡下さい。

- 創刊号「内川の終点まで歩く」
- 第2号「近所で迷う」
- 第3号「休日のフリマへ」
- 第4号「青物横丁の賑」
- 第5号「気になる店に入ってみる」
- 第6号「白田坂漫遊」
- 第7号「駅前だって散歩道」
- 第8号「運河までひと歩き」
- 第9号「池上のお山にのぼる」
- 第10号「水族館水中散歩」
- 第11号「大森名物のり探し」
- 第12号「野鳥公園で1日」